いつまでもお元気で

2/8 いいたてホームで、大浦英子さんの１０３歳の誕生会

「いいたてホーム」に入居されている大浦英子さんが満１０３歳の誕生日（明治39年２月２日生）を迎えられ、入居者や職員が誕生会を開きました。

誕生会では、特製ケーキも用意され、英子さんが笑顔でローソクの火を吹き消しました。

また、職員による楽しい踊りが披露されました。

英子さんは相馬市出身で、平成14年３月に「いいたてホーム」へ入居。温厚でお話好きな性格で、みんなと楽しく過ごされています。

これからもますますお元気でお過ごしください。

▲１０３歳を型どったケーキでお祝いしました

お互いの心の支えに

2/8 2/9 青年交流事業『きらめき出逢い in 杜の都』

▲ボーリングを通して交流を楽しんだ参加者ら

青年交流第２弾『きらめき出逢い in 杜の都』が宮城県仙台市で行われ、村内外から13人が参加しました。

参加者らは、実行委員を除き、ほとんどが初対面。初日のパーティーでは、初めのうちは会話もぎこちなく、途切れがちでしたが、次第に、旧来の友人のように楽しく会話する姿が見られました。

２日目は、ボウリング場で交流しました。

この日は、あいにく冷え込みの厳しい日で、ボウリング場も寒かったようですが、ストライクやスペアを取る度に、熱い声援が飛び交っていました。

最後に、実行委員長から「これを機会に今後も交流を深め、これから大変な事があった時に、心の支えになっていただければ嬉しい」との言葉があり、つかの間の交流を心に刻んでいました。